Rotary International District 2510 No.3

END POLIO NOW

2021-2022 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

9
2021 September

島義勇像

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー第2510地区 2021-2022年度 ガバナー 大日向 豊吉

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

2021-2022年度　国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度地区目標

「世界に奉仕を　地域には感謝を」
「不忘感謝先人偉業」

❶ RI会長テーマの理解と促進
❷ リーダー育成の観点からRLIへの参加を促す
❸ ロータリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きにおいて
　インターネットの活用を推進する
❹ ロータリー財団、ポリオ根絶への理解を求め会員の積極的な理解を求める
❺ ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力を求める
❻ 会員増強、Each One, Bring Oneの推進と「ロータリー奉仕デー」の実施
❼ クラブにおける戦略計画の立案（未来ビジョンの策定）と目標の設定を推奨する

CONTENTS

●ガバナーメッセージ …… 1
●2023-24年度国際ロータリー会長に
　ゴードン R. マッキナリー氏が選出されるガバナー公式訪問 …… 3
●2022年ヒューストン国際大会のご案内（第1報） …… 4
●ガバナー公式訪問報告 …… 5
●新会員のご紹介 …… 18
●米山奨学生の紹介・米山記念奨学会寄付 …… 19
●ハイライトよねやま …… 20
●ロータリーコーディネーターNEWS …… 22
●第1地域RRFC便り …… 24
●2024-2025年度ガバナーノミニー候補者推薦のお願い …… 29
●令和3年熱海豪雨義捐金報告 …… 30
●地区カレンダー（9月・10月） …… 31
●会員数・例会回数報告 …… 32

知識を智慧に

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度ガバナー
大日向　豊吉（函館五稜郭ＲＣ）

７月20日	赤平ＲＣ	10：00～
７月20日	芦別ＲＣ	16：00～
７月21日	砂川ＲＣ	10：00～
７月21日	滝川ＲＣ	16：00～
７月26日	札幌北ＲＣ	10：00～
７月27日	札幌西ＲＣ	10：00～
７月27日	札幌モーニングＲＣ	17：30～
７月28日	札幌モーニングＲＣ	７：30～
７月28日	札幌ＲＣ	10：00～
７月28日	栗沢ＲＣ	16：00～
７月29日	札幌西北ＲＣ	10：00～
７月30日	札幌ライラックＲＣ	16：30～
８月２日	札幌南ＲＣ	10：00～
８月２日	札幌はまなすＲＣ	16：30～
８月２日	札幌南ＲＣ	10：00～
８月３日	札幌清田ＲＣ	10：00～
８月３日	札幌大通ＲＣ	16：30～
８月４日	新札幌ＲＣ	10：00～
８月４日	札真駒内ＲＣ	16：30～
８月５日	札幌東ＲＣ	10：00～
８月６日	札幌幌南ＲＣ	10：00～
８月７日	札幌手稲ＲＣ	10：00～
８月10日	小樽ＲＣ	10：00～
８月10日	蘭越ＲＣ	10：00～
８月18日	倶知安ＲＣ	10：00～
８月18日	余市ＲＣ	16：00～
８月19日	岩内ＲＣ	10：00～
８月19日	小樽銭函ＲＣ	16：00～
８月20日	小樽南ＲＣ	10：00～

残暑お見舞い申し上げます

感動と希望を与えてくれた「東京2020オリンピック」・狂暑続きであった夏も過ぎ、暑さからくる体調異変が気になる季節となりました。

皆様のご健康を心からご祈念申し上げます。クラブ公式訪問は12グループ69クラブのうち、１グループから６グループまで、37クラブの公式訪問を終えることが出来ました。

偏に、ガバナー補佐をはじめクラブ関係者皆様に、まずもって感謝申し上げます。

有難う御座いました。

奉仕活動については、訪問先のクラブは、異口同音、「昨年はコロナ感染拡大の危険性から、ほとんど実施することが出来ませんでした。」と報告を受けました。

今年は何とか奉仕活動をしたいとの声がありますが、未だコロナ感染に怯えているというのが実態であります。

シェカール・メーターＲＩ会長は９月12日「ロータリー奉仕デー」と決め、世界的規模で海岸線の清掃を実施しようと呼びかけております。
海辺の無い地域は、川または湖、沼であっても結構です。

蘭越RCにおいては、既に何年も前から地域団体と共に、行政を動かし300人を超える規模で「尻別川」（喜茂別町横にあるフレ岳1,046mから流れ、長さ126km流域面積1,640㎢の一級河川、蘭越町で日本海に出ている）の清掃活動を行い、今では清流日本一としても有名です。

６グループでは全クラブがこの尻別川清掃活動に参加しようと松浦ガバナー補佐が中心となり音頭を取っておりました。

宜しくお願い致します

札幌南RCでは聾唖者との交流活動の紹介がありました。

また、オンライン化にともない外国（マダガスカル）からの卓話を紹介してくれたクラブもありました。

大きなクラブ、会員数小規模クラブと、奉仕活動は様々ではありますが素晴らしい内容と活動が盛り沢山であり、大変勉強をさせて頂いております。

会員増強につきましては、クラブが目標を決め、既に実行しているクラブもありますが、シャッター街が目立つ過疎化の進む地域では増員が大きな問題となっているのも事実であります。

ロータリーには倒産寸前の会社を救った名言「四つのテスト」があります。

生みの親でありますハーバートｊテーラー氏は自叙伝に「四つのテスト」は苦悩の末、神様からのお諭であったことを記述しております。

皆様におかれましては、今迄も・これからもロータリークラブをはじめ、職業を通じて地域に・世界に様々な奉仕活動をされていくこと思います。

各クラブにおきましては会員増強はクラブ存続に係わる大きな問題であります。

また、会員増強と地域経済活性化の問題は切り離して論じることは出来ない大きな課題であります。

そこで提案であります。

会員増強と地域経済活性化の問題は、短期・中期・長期的に計画することが必要と考えます。

私たちロータリアンは、各々が地域事業所の代表者であります。

そこで、先ず短期的に足元から始める

（１）会員による内部卓話の充実を図る

会員同志を深く知り合うことをねらいとし、ときには励まし、アドバイスを与え、技術・技能の提携等々を考える。

そのようなところから新たな事業の創意工夫が生まれてくるかもしれません。

今の時代、会員相互の扶助はとても必要なことだと思います。

結果としてクラブの魅力は高まり、会員同志が心底仲良くなり、地域への波及効果も表れていくと思います。

中期的には

（１）事業業務内容の見直し・新規事業の創設。

（２）公共事業に対する促進・要望等々

長期的には、地域経済活性化について「不忘感謝偉人偉業」を根底に据え、冗談を交えながら議論する。

（１）地域産業の再開発・魅力的産業の創造

（２）大学や企業誘致等々

夕張の映画祭は大分の由布院がお手本かと思います。

地域経済活性化の「夢と希望」は地域の方々や多くの団体と話す機会を増やし、他都市視察も交え、特に会員増強は足元から始めることにより会員相互間に信用・信頼が膨らみ、例会が楽しくなり、未来ビジョンの策定へと繋がっていくと思います

ロータリーの目的には

第１項に、知り合いを広め奉仕（サービス）の機会とする。と記述されております。

奉仕とはつつしんでつかえること（広辞苑）翻訳せず、ありのままサービスと読んだほうが理解できると言われています。

今の時代、私たちは学ぶ機会が多く、頭でっかちになりがちです。

机上での知識を、厳しい人生を生き抜くため智慧に変える学習能力を身に着けたいものです。

相撲は日本人にとっては神技であり美徳（品格）を求められますが、７月場所千秋楽、白鵬・照ノ富士戦からも知り得るように、賜杯を享けた者が善とみなされ称えられるわけであります。

外国人取っては土俵に上れば勝負の世界、生きるか死ぬかであります。

３・11を経験され、生きながらえた方々の『私たちは郷土を子供や未来の子孫のために、夢と希望を持ち再生します。』と、力強く素敵な笑顔でお話しする姿が放映がされており、涙が出るほど感動を致しました。

ロータリアンの智慧と行動力が地域経済活性化に繋がることをご祈念申し上げます。

2023-24年度 国際ロータリー会長に ゴードン R. マッキナリー氏が 選出される

ゴードン R. マッキナリー氏（サウスクイーンズフェリー・ロータリークラブ会員）が会長指名委員会により2023-24年度国際ロータリー会長として選ばれました。

2023-24年度国際ロータリー会長の指名委員会により、スコットランド、サウスクイーンズフェリー・ロータリークラブ会員のゴードン R. マッキナリー氏が選ばれました。対抗候補者が出ない場合、10月1日に会長ノミニーとして宣言されます。

マッキナリー氏は、新型コロナウイルス流行の中でテクノロジーを取り入れたロータリーの適応力を高く評価。ロータリーが今後も成長し、人びとの参加を促していくには、ロータリーの過去の慣習の最も良い部分と組み合わせてこのアプローチを継続していくべきだと述べています。

「私たちは、地域社会で互いを思いやる意思があることを学びました。ボランティアという概念を最近受け入れた人たちが今後も奉仕していけるように、これらの人にロータリー入会を奨励する必要があります」とマッキナリー氏。

また、オンラインでのシニアリーダーとクラブの直接的なコミュニケーションは、好ましい変化として今後もロータリーに残していく必要があるとも述べました。その一方で、「より多くの交流を促進するには対面での会合も依然として重要」と加えています。

会員増強の最善の方法は「エンゲージメント（参加／関わり）」であると考えるマッキナリー氏は、クラブをより良くサポートするには、国際ロータリー、地域リーダー、地区チームのすべてがクラブと関わりあう必要があると述べています。また、ソーシャルメディアを通じたエンゲージメントによって、ロータリーのブランドがより強くなり、ロータリーがもたらす機会を多くの人に知ってもらうことができる、また、政府・企業・その他の団体のエンゲージメントがあることで有意義なパートナーシップが築かれる、とも述べています。

より積極的なエンゲージメントがあれば、「会員基盤だけでなく、より有意義な奉仕をする能力においてもロータリーが成長できる」とし、「会員は組織の活力源です。新しいスタイルのクラブを設立するために、現在可能となっている柔軟性を活用することを奨励していきたいと思います」と語ります。

ダンディー大学を卒業（口腔外科）し、エディンバラで歯科医院を開業。英国小児歯科学協会の元会長のほか、学術分野で数々の役職を歴任。長老派教会の元長老、クイーンズフェリー教区元理事長、教会総会元役員。

1984年にロータリークラブに入会。グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（RIBI）の会長と副会長、国際ロータリーの理事と各種委員会の委員長を歴任。現在は2022年ヒューストン国際大会委員会のアドバイザーおよび運営審査委委員会の副委員長。

妻のヘザーさんとともにメジャードナーおよびベネファクターとしてロータリー財団を支援し、遺贈友の会の会員でもあります。

2023-24 年度国際ロータリー会長指名委員会のメンバーは次の通り（敬称略）：Gérard Allonneau（Parthenayロータリークラブ、フランス）、Ann-Britt Åsebol（Falun-Kopparvågenロータリークラブ、スウェーデン）、Basker Chockalingam（Karurロータリークラブ、インド）、Corneliu Dincă（Craiovaロータリークラブ、ルーマニア）、Celia Cruz de Giay（Arrecifesロータリークラブ、アルゼンチン）、Mary Beth Growney Selene（Madison West Towne-Middletonロータリークラブ、米国）、Jackson S.L. Hsieh（Taipei Sunriseロータリークラブ、台湾）、黒田正宏（八戸南ロータリークラブ、日本）、Larry A. Lunsford（幹事）（Kansas City-Plazaロータリークラブ、米国）、Anne L. Matthews（委員長）（Columbia Eastロータリークラブ、米国）、三木 明（姫路ロータリークラブ、日本）、Eun-Soo Moon（Cheonan-Dosolロータリークラブ、韓国）、Peter L. Offer（Coventry Jubileeロータリークラブ、英国）、Ekkehart Pandel（Bückeburgロータリークラブ、ドイツ）、M.K. Panduranga Setty（Bangaloreロータリークラブ、インド）、Andy Smallwood（Houston Hobby Areaロータリークラブ、米国）、Steven A. Snyder（Auburnロータリークラブ、米国）

2022年ヒューストン国際大会のご案内（第1報）

地区RI国際大会推進委員会
委員長
福 田 武 男
（千歳RC・PG）

第2510地区ロータリアンの皆様、2022年の国際大会は、テキサス州ヒューストンの地にて、2022年６月４日～６月８日の５日間開催されます。国際大会に多くの会員そして家族の皆様が参加され親睦を深めることができれば幸いでございます。

開催地ヒューストン市は、テキサス州南東部にあり、ニューヨーク市、ロサンゼルス市、シカゴ市に次いで全米第４の人口を抱えるテキサス州内最大の都市です。特に、メキシコと国境を接するテキサス州の最大都市です。ヒューストン市郊外には、NASAのジョンソン宇宙センターがあり、国際宇宙ステーションの管制を行うほか、日本人を含む数多くの宇宙飛行士の訓練を行っています。全米有数規模のジョージ・ブッシュ国際空港を擁し、ユナイテッド航空のハブ空港として中南米路線の拠点となっています。

JAL　6月4日（土）～6月9日（木）4泊6日（1名1室利用追加代金48,000円）

◎ご旅行代金／お一人様：15名～19名様　298,000円／お一人様：20名～24名様　284,000円
（燃油16,000円＋空港税　12,620円別途かかります）

日次	月　日	地　名	現地時間	交通機関	日　程	食事
1	6月4日（土）	新千歳空港　発 羽田空港　着 羽田空港　発 ダラスフォトワード　着 ダラスフォトワード　発 ヒューストン　着	07：30 09：05 10：55 08：40 12：36 13：52	JL 500 JL0012 AA5731 専用車	日本航空国内線にて羽田空港へ 日本航空国際線にてダラスフォーワードへ。 ＜日付変更線＞（飛行時間11時間30分） アメリカン航空にて ヒューストンインターコンチネンタル空港。 着後ホテルへ	朝：ー 昼：ー 夕：・
2	6月5日（日）	ヒューストン	午前 夜		国際ロータリー2022年 ヒューストン大会参加 北海道ナイト（別途、ご案内いたします）	朝：○ 昼：ー 夕：ー
3	6月6日（月）	ヒューストン	終日		自由行動　オプショナルツアーでお楽しみください。 ①ヒューストン市内観光と NASAジョンソン宇宙センター	朝：○ 昼：ー 夕：ー
4	6月7日（火）	ヒューストン	終日		自由行動　オプショナルツアーでお楽しみください。 ②ゴルフ　③メジャーリーグ観戦 ④アウトレットショッピング	朝：○ 昼：ー 夕：ー
5	6月8日（水）	ヒューストン　発 ダラスフォトワード　着 ダラスフォトワード　発	08：00 09：19 11：10	専用車 AA5881 JL 011	ヒューストンインターコンチネンタル空港へ。 アメリカン航空にてダラスフォーワードへ。 日本航空国際にて羽田空港へ ＜日付変更線＞（飛行時間13時間10分）	朝：○ 昼：・ 夕：・
6	6月9日（木）	羽田空港　着 羽田空港　発 新千歳空港　着	14：20 17：35 19：10	JL 525	着後、 日本航空国内線にて新千歳空港へ	朝：・ 昼：ー 夕：

※発着時間及び交通機関は変更になる場合がございます。航空会社 / JL:日本航空 AA:アメリカン航空

■　募集人員 / 30名様　最少催行人員：15名～20名様
■　利用予定航空会社 / JL：日本航空　AA：アメリカン航空
■　利用予定ホテル / ルメリディアンヒューストンダウンタウン　同等クラス（会場まで700m徒歩9分）
■　添乗員員 / 同行いたしません（現地ガイドが対応致します）
■　食事条件 / 朝食4回　（機内食は除く）

◎オプショナルツアー /（専用車・日本語ガイド付き）参加人数により費用が変動します。
①ヒューストン市内観光とNASAジャンソン宇宙センター
②ゴルフ　パブリックコース　1R（パワーカート付き）
③メジャーリーグ：アストロズ・エンゼル戦観戦（開催の場合）（ホテル～徒歩10分）
④アウトレットショッピング

お申込・お問い合わせ先
株式会社 ノース・スター・トラベル
千歳市千代田町５丁目５番１
電話 0123-24-2121　FAX 24-5514

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合上ならびに原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

深川ロータリークラブ　7/6 火

まずは、コロナ禍のなか深川RCにご訪問ありがとうございました。

６月、緊急事態宣言が解除されガバナー公式訪問の連絡を頂き、短期間での受け入れ準備となり、十分なお迎えができなかったことお詫び申し上げます。当クラブも緊急事態宣言を受け、感染対策として一ヶ月半例会を中止し、再開したのが７月６日(火) の「ガバナー公式訪問」例会です。例年、妹背牛RCと合同の例会でしたが、６月末で妹背牛RCが解散となったため、時間を変更して会長・幹事懇談会、クラブ協議会を行い、その後例会に入り、新会員入会式ではガバナーから２人の新会員にバッチを付けて頂き、ご挨拶・講話を頂戴しました。

今回、当クラブの「ふれあい農園」事業に対し高い評価を頂き感謝申し上げます。３年目となるこの事業は、社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会が連携のもと、障がい者就労施設利用者とサッカー少年団の子供たち、当クラブが合同で野菜を作り、秋には共に収穫し交流を深める事業であります。例会終了後、市長表敬訪問、農園視察をして頂きありがとうございました。

留萌ロータリークラブ　7/7 水

７月７日(水)、大日向豊吉ガバナー、朝倉純一地区幹事をお迎えし、午前10時より会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会をパワスポ留萌で開催いたしました。会長・幹事懇談会では当クラブより高橋会長・串橋会長エレクト・武田幹事・青山副幹事の４名で参加し、クラブの現状について意見交換を行いました。クラブ協議会では、担当委員長より本年度の活動計画等が発表され､大日向ガバナーより｢まずは皆さんが楽しんで活動してほしい」との講評をいただきました。その後、例会が開催され、本年度の活動方針や現況等を「大日向節」でご説明いただき大変楽しく有意義な時間を過ごすことができました。しかしながら、留萌にお越しいただいたのにもかかわらず大日向ガバナーの大切なボタンを見つけることができず悔しい気持ちでいっぱいでございます。毎例会時に周辺捜索致します。最後に、新型コロナウイルス感染拡大が危ぶまれる中にもかかわらず、当クラブまでお越しいただき誠にありがとうございました。会員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

羽幌ロータリークラブ　7/8 木

■会長・幹事懇談会：AM10：00～11：00

Theme：クラブ諸問題全般について、将来に生かせる地域特性は？

会員数は2016年から退会者数が入会者数を上回る傾向にあり、特に、昨年は８名の退会者、２名の新入会者であり、現在36名である。思うように増強が進まないなか、ガバナーは行政とも協力しながら地域づくりと並行して会員増強に取り組む必要があること、入会後の新入会員セミナー、研修プログラムも充実させる必要がある。

ガバナー所感：会員増強に関しては、今後も力をいれて取り組む必要がある。それぞれの地域特性もあり、この地域の良さを活かしながら、また留萌RC、深川RCと親睦やその他の事業で交流を保ちながらクラブの活性、会員拡大に繋がっていくことができれば理想的である。

■クラブ協議会：AM11：00～12：00

各委員会活動計画について説明があった。

青少年奉仕委員会では2005年から自然と人との共生の場として「ビオトープ」造成に協力し、植樹、草刈りを通して青少年との交流も企画。また、少年野球大会も25回にわたって開催しているが、残念ながらCOVID-19の影響を受けてここ２回ほど開催できていない。今年は、高校ラクビーチームに大会の際に使用するテントを寄贈してその活動を応援する計画を立てた。社会奉仕委員会では年３回の日赤の献血を支援する活動を隣村の初山別も含めたエリアで活動している。その他としては奥様や家族が参加できる例会を年４回ほど実施している。

ガバナー所感：各委員会がそれぞれ機能していろいろな活動計画を示して頂きました。計画の実現には色々な分野の協力も必要です。必要であれば行政の力も借りながら計画を実行して頂きたい。例会の中で会長、各委員会等が中心となって会員に情報を提供して頂きたいと思います。

■公式訪問例会：PM12：15～13：15

ガバナーからのご依頼

地区大会：本会議10月10日。10/８：ゴルフ大会。10/９：記念講演“櫻井よしこ氏”

１．ＲＩ会長テーマの理解と促進
２．リーダー育成の観点からＲＬＩへの参加を促す
３．ロータリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きにおいてインターネットの活用を推進する
４．ロータリー財団、ポリオ根絶への理解を求め会員の積極的な理解を求める
５．ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力を求める
６．会員増強、Each one, Bring oneの推進と「ロータリー奉仕デー」の実施
７．クラブにおける戦略計画の立案（未来ビジョンの策定）と目標の設定を推奨する

現在は、世界中が新型コロナ禍に怯え、途方に暮れているような状況であります。林修さんではありませんが、ロータリーが地域のために実力を発揮するのは『いまでしょう!!』其々の地域にはそれぞれ受け継がれている開拓精神があると思います。この時代を千歳一隅と悟り、各グループガバナー補佐が中心となり、ロータリアンが知恵を出し合い『先人の智慧を探求』し、学び、地域活性化につなげる議論を大いに重ね、地域を元気にするアイデアを誕生させていただきたいと思います。

当別ロータリークラブ　7/12 月

７月12日(月)19：00～大日向豊吉ガバナー公式訪問

ガバナーからの講話では、「私は入会時に推薦者から100％出席義務と『四つのテスト』はしっかり覚えなさいと言われました。そして四つのテストは１つでも欠けていたら進んではいけない。四つでセットであることを言われました」。また、終始若い会員には「物事をポジティブに捉えて前へ進んでほしい」ということと、先輩諸兄には「後継者を育成することの大切さ」をお話されました。

このような厳しい時代だからこそ互いに助け合ってビジネスのチャンスを広げ、まず自分が幸せになる。だからこそ、そこから世界への奉仕につなげていける。「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」等のロータリーの名言は、コロナ禍で疲弊し、先の見えない不安の中にいる私たちに「希望という名の救いの光です」と、心に沁みるお言葉がありました。

当クラブは昨年度より会食をせずに持ち帰りのお弁当としておりますので、夜間例会にもかかわらず会食を共にできなかったのが残念でした。

岩見沢東ロータリークラブ　7/13 火

７月13日(火)例会場岩見沢平安閣に於いて、第2510地区大日向豊吉ガバナー、朝倉純一地区幹事、早河常機第３グループガバナー補佐、伊藤智徳ガバナー補佐幹事に御来訪頂き、ガバナー公式訪問を開催致しました。

午前10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会、12時半より例会を行いました。当クラブからは各委員長による活動計画の発表と、今年度世話クラブとして受け入れをしている米山奨学生の紹介を行いました。

大日向ガバナーからは、当クラブが長年継続して行っている児童養護施設への訪問交流、少年少女サッカー大会の開催等の奉仕事業に対しご好評を頂きました。

またクラブの課題である会員増強や、奉仕活動への取り組み方について大変貴重なアドバイスを多数頂きました。

今年度のガバナー公式訪問の日程は、年度が替わって２回目の例会日でしたので、今後１年間の活動を行っていく上で大変貴重なものとなりました。

大変親しみやすいお人柄の大日向ガバナーから、ロータリー活動を行う上での大切な「種」を沢山頂いたと思います。これからの一年間会員が力を合わせてその種から花を咲かせていきたいと思っております。

江別西ロータリークラブ　7/13 火

７月13日(火)、大日向ガバナー、早川ガバナー補佐、朝倉地区幹事、伊藤補佐幹事の４名をお迎えし、カバナー公式訪問が開催されました。

午後４時より会長・幹事懇談会を開き、終始和やかに懇談が行われ、カバナーからは、所属される函館五稜郭RCの特徴や成功事例等もご教示頂き大変勉強になりました。また、ガバナーの明るいお人柄や親しみある話し方には、僭越ながら、カバナーをより身近に感じることができました。

ガバナーの言葉で、「ロータリーは100％の出席と４つのテストを覚えるのが一番大切だ」と熱く語られたのが深く印象に残っています。

引き続き行われたクラブ協議会、例会では、大日向ガバナー、早川ガバナー補佐からも大変貴重なご意見を頂きました。どうもありがとうございました。

当クラブにとっては、大変有意義な公式訪問であり、ご訪問いただいた大日向ガバナー、早川ガバナー補佐、朝倉地区幹事、伊藤補佐幹事に会員一同心より感謝申し上げます。

美唄ロータリークラブ　7/14 水

2021年７月14日（水）16時30分より大日向ガバナーをはじめ、朝倉地区幹事、早河第３グループガバナー補佐、岸山第３グループガバナー補佐代表幹事をお迎えして、当RCガバナー公式訪問を開催しました。

まず会長・幹事懇談会では川上会長より当RCの近況と特徴について報告。次にガバナーからご挨拶をいただきますとともに意見交換となり、終始和やかで有意義な時間を過ごすことができました。

クラブ協議会では当RC各委員長より今年度活動計画、並びに会計やSAAからの説明。また、新入会員からもご挨拶をさせていただき、最後にガバナーから総合的なご意見やご助言をいただき、RCは地域に根差し、会員増強が大切である旨のお話を頂戴しました。

夜間例会前には全員で記念撮影。例会ではあらためてご挨拶をいただき、会員が減少している昨今、入会しやすい環境を作りやRCの目的の再認識と魅力を地域に伝えることなど会員増強に繋がるのではと頂戴しました。

この度のガバナー公式訪問に際し、大日向ガバナーをはじめ朝倉地区幹事に対し、美唄RC会員一同心より感謝申し上げます。

江別ロータリークラブ　7/15 木

令和３年７月15日(木)大日向ガバナー、早川ガバナー補佐、朝倉地区幹事、岸山ガバナー補佐幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。
江別RCの公式訪問としては、年度開始３週目のガバナー訪問となり、60年のクラブ歴史の中でも、１～２番目に早い公式訪問となりました。

10：30から会長・幹事との懇談会、11：00よりクラブ協議会、12：30より例会開始となり、クラブ協議会に関しては12：00終了予定が12：15まで行われ、熱気あふれる協議会となりました。

例会では、久富会長の挨拶でスタート、その後大日向ガバナーよりコロナ禍の中での例会運営に対して、力強いご示唆をいただきました。

年度始めと言う事もあり、各委員会の事業もほとんど行われていない中での公式訪問でしたが、ガバナーの大変フレンドリーでロータリーに対しての力強い熱意が犇々と伝わってくる有意義な公式訪問例会となりました。

大日向ガバナーほか役員の皆様方の今後益々のご活躍を期待いたしまして報告と致します。有難うございました。

岩見沢ロータリークラブ　7/15 木

晴れ渡る青空の、暑かった７月15日。涼秋の開催が常であったガバナー公式訪問が開催されました。熱い一日は、大日向ガバナー他、早河ガバナー補佐、朝倉地区幹事、岸山ガバナー補佐幹事をお迎えしての会長・幹事懇談会から始まりました。

続いてのクラブ協議会では、各委員長からの今年度の計画を熱い思いに乗せお伝えいたしました。ガバナーからは、ユーモアも含めての貴重な講評を頂戴し、終了後、和やかな雰囲気の中での写真撮影で、ガバナー一行を笑顔で囲みました。

その後久々に開催された夜間例会。本来なら、飲食を伴った形でと企画いたしましたが、昨今のコロナ禍の状況を鑑みて、お弁当お持ち帰り。しかし大日向ガバナーのご講話を頂き、その中で奉仕の精神の奥深くをお伝え頂きました。その後地区大会の機運を高めるべく、函館の観光ビデオや、前回訪問時のビデオ鑑賞、嵯峨パストガバナーからの応援メッセージ。心はすでに函館へ。

ガバナーからは、「このクラブは熱くエネルギッシュ」とのお言葉を頂戴いたしました。脈々と受け継がれる当クラブの歴史と伝統。そのエネルギーのうねりを感じて頂き、温かいお言葉を頂いた事に感謝を申し上げ報告といたします。

赤平ロータリークラブ　7/20 火

７月20日(火)に、大日向豊吉ガバナー、堀江和美ガバナー補佐、岡田恒男地区幹事をお迎えして公式訪問を開催致しました。
10時からの会長・幹事懇談会では、クラブが抱えてる悩みや、問題点のアドバイスを頂きました。特に、コロナ禍の中でICTを駆使しての例会運営方法にご意見を頂き大変参考になりました。
またローターアクトクラブがあることの優位性などもお話して頂きました。
11時からのクラブ協議会では、各委員長の発表に総評を頂きました。年度がスタートして間もない訪問だった為、各委員長が今後の方向性を定められる貴重な機会となりました。

12時30分からの例会の卓話では、ご自身の経験をもとにユーモア溢れる熱いご講話をして頂き「皆と同じことでは無く、誰もやっていないことに勇気を出してチャレンジする」ということを学ばせて頂きました。今後の活動や会員増強において活かしていきたいと思います。
例年は食事をしながら懇親を深めるのですが感染防止のため割愛し、終了後に全員で記念写真を撮って全てのプログラムを終えました。
短い時間の中で示唆に富んだ多くのことを伝えて頂いたことに感謝申し上げます。

芦別ロータリークラブ　7/20 火

７月20日(火)、大日向豊吉ガバナー、第２グループ堀江和美ガバナー補佐、岡田恒男地区幹事をお迎えし、芦別商工会議所にてガバナー公式訪問が開催されました。
訪問に先立ち、「道の駅スタープラザ芦別」にご案内し、コロナ感染症対策として当クラブより芦別市に寄贈・設置した「顔認証サーマルカメラ」と、昨年駅前より移設された「ロータリーの碑」を見学していただいた後、旭丘公園の「ロータリーの森」にご案内しました。
16時30分より会長・幹事懇談会が行われ、大高会長より当クラブの現状と課題の報告があり、ガバナーより、芦別市内の街路樹や花壇が綺麗に整備されている景観を通して「芦別市が発展する可能性」について言及されました。
クラブ協議会では、各委員会からの活動計画の報告の後、ガバナーより「自らが現在取り組んでいる新しい事業」や「ロータリークラブの普段の活動」を通して、「ポジティブに地域の発展に寄与すること」や、「若い世代のロータリアンの育成の重要性」が述べられました。
ガバナー公式訪問例会は、コロナ禍の中時間を短縮して行われました。
堀江ガバナー補佐より大日向ガバナーのご紹介の後、ガバナーより「世界に奉仕を 地域に感謝を」「不忘感謝人偉業」についてお話があり、自らの事業やロータリー活動を通して「それぞれの立場で地域の発展に寄与すること」、「未来を切り開く次の世代のロータリアンの育成の重要性」についてご助言がありました。最後に「コロナを克服して地区大会には多くの会員が参加されますよう」と力強く呼びかけられました。
ご多用の中、大日向ガバナー、堀江ガバナー補佐、岡田地区幹事の皆様に於かれましては当クラブへの訪問いただき、誠にありがとうございました。
私共は、今回の訪問を機に更に活動の幅を広げてまいりたいと思います。

砂川ロータリークラブ　7/21 水

「創意工夫で奉仕と友情　砂川RCスタイルを目指して」を掲げ、創立元年の気持ちで会員の皆様と共にクラブ活動をすすめています。
砂川RCでは、メークアップ後ではありますが、毎年90パーセント前後の高い出席率を維持しており、また年齢層を問わず仲間意識も高く老若男女の隔たりが感じられないクラブでございます。
　事業の特徴としては、地元高校生への出前講座、小・中学生を対象としたノーマライゼーション事業「リンゴ狩り」を計画。
　また、地区補助金を頂き、河川沿いに桜の木植樹を毎年継続しています。
クラブ会報、ホームページも充実し、会員への情報伝達に効果を発揮しております。
　７月21日のガバナー公式訪問では、遠くから大日向ガバナーと岡田地区幹事にお越し頂きまた当クラブより堀江ガバナー補佐にご参加頂き、有意義な時間を過ごさせて頂きました。オンライン例会等の詳しいお話をして頂き大変参考になりました。
　今後のクラブ運営の参考とさせて頂きます。
　この度はどうもありがとうございました。

滝川ロータリークラブ　7/21 水

　７月21日(水)に、大日向豊吉ガバナー、第二グループ堀江和美ガバナー補佐、岡田恒男地区幹事をお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。
　15時30分よりガバナーと会長・副会長・会長エレクト・幹事懇談会を開催し、坂本会長から滝川RCの特徴についてお話がなされました。特徴の一つとして夜間例会の無い月には木曜フォーラムという勉強会を開催し先輩会員からロータリーに関する卓話を頂くのが大きな特徴などの話がなされました。大日向ガバナーからは会員増強について幅広い年齢層からの入会誘導のお話と激励のお言葉を頂きました。
　16時30分からはクラブ協議会が開催され18の委員会から年間の事業計画が発表されました。
　18時より第3249回ガバナー公式訪問例会が開催され大日向ガバナーより卓話を頂き、シェカール・メータＲＩ会長方針「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」についてお話をされ大日向ガバナー年度の地区方針「世界に奉仕を　地域に感謝を」について細かな説明が有りました。
ご多忙の中、弊クラブにご訪問くださった大日向ガバナー、堀江ガバナー補佐、岡田地区幹事にクラブ一同感謝申し上げるとともに、今後のガバナー公式訪問が充実したものとなることを心より祈念しております。

札幌北ロータリークラブ　7/26 月

７月26日に大日向豊吉ガバナー、第４グループ久保隆ガバナー補佐、朝倉純一地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では藤城会長からクラブの現状について報告し、大日向ガバナーからは、当クラブの支援活動は会員同士の結びつきを強める意味でもとても有意義で、今後も継続性を持って地域貢献をしてほしいとのお話しがありました。

11時からのクラブ協議会では、各委員長より活動計画と実施状況などをご報告し、大日向ガバナーから各委員会は大変素晴らしい計画を立てているので継続性を持って進めてほしいことと、ロータリーの活動の素晴らしさを是非仲間に伝えて今後を担う若い世代の会員増強にも引き続き力を入れてほしいこと などをご講評頂きました。　その後の例会では大日向ガバナーから、ご自身がロータリーへ入会した経緯や、「四つのテスト」「まずは例会に出席すること」などの重要さを示唆して頂きました。改めて、一人の力は小さくとも皆で力を合わせると大きな力になることを確認し、ロータリアンとして今後どのように地域貢献していけるのかを大いに議論しましょう、と地区大会のお話しもしてくださいました。大日向ガバナーのお話しによって、普段から行っている活動についてその意義を改めて考えることができ、奉仕の心が更に深まったと感じることができました。

例会後には会員と笑顔で記念写真を撮影してくださり、非常に有意義に和やかにガバナー公式訪問を終えることができました。大日向ガバナー、久保ガバナー補佐、朝倉地区幹事、会員の皆様には心よりお礼申し上げます。

札幌西ロータリークラブ　7/27 火

７月27日(火)、ロイトン札幌にて大日向豊吉ガバナー、久保隆ガバナー補佐、朝倉純一地区幹事をお招きして「ガバナー公式訪問」が開催されました。会長・幹事懇談会では、当クラブの会長・幹事が比較的若いという事もあり、今後の会員増強でどんどん若い人に入ってもらえば更なる発展が出来ると歓談させて頂きました。

クラブアッセンブリーでは各委員長から今期の活動計画を説明し、ガバナーより講評を頂きました。ピンクリボンキャンペーンの継続的な参加や当クラブの特長である音楽委員会については特に評価を頂きました。

例会ではロータリークラブの目的のひとつに地域貢献が非常に重要であり、コロナ禍である時こそ地域社会に何が出来るのか、それはどのように行えばミッションを達成できるのか、クラブ全体で知恵を出して実行に移すことが大切だと、函館地域での実例を交えてお話しされました。またコロナ禍である為、外部講師を呼ぶのではなく会員の卓話を増やして、改めて会員の事を深く知る機会にして欲しいとお話し頂きました。

この度のご訪問、誠にありがとうございました。

札幌モーニングロータリークラブ　7/28 水

前日の７月27日（火）17時30分から会長・幹事懇談会、18時30分からクラブ協議会に始まり、翌28日（水）朝７時30分からセンチュリーロイヤルホテル20Fにて大日向豊吉ガバナー、久保隆ガバナー補佐、朝倉純一地区幹事をお招きし、公式訪問が開催されました。好天の爽やかな景色を満喫しながらラジオ体操から始まるいつものスタイルで、和やかにスタートしました。

今年４月から受け入れております米山記念奨学生の余麗（ュリ）さんへ奨学金をお渡しする例会でもありましたので、急遽当クラブの佐藤元治会長と大日向豊吉ガバナーのお二方から手渡すという設えにさせていただきました。

例会では当クラブの継続事業である「カミネッコン植育樹事業」やメンバーが若くて活気があると賛辞を賜り、この日のために日章旗とロータリー旗を新調して心新たに臨んだ甲斐がありました。

大日向ガバナーからは「誰かの人生を幸せにする＝自分に帰ってくる」「会員卓話をすることでより知り合おう！　知り合いを深めて奉仕の機会にする」「地域が元気になることをロータリアンがそれぞれの地区で行動する」「日本には伸びしろがある」とお言葉を賜り大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

最後に大日向ガバナーを中心に記念撮影を撮り、あっという間の例会終了となりました。

ご多忙の中、ご訪問いただき誠にありがとうございました。

札幌ロータリークラブ　7/28 水

７月28日（水）、大日向豊吉ガバナー、久保隆ガバナー補佐、朝倉純一地区幹事をお迎えし、当地区18番目のガバナー公式訪問が行われました。

午前10時から中田隆博会長、大原雅会長エレクト、松下直樹幹事を交え会長・幹事懇談会が行われ、11時からは理事、役員、委員長が加わりクラブ・アッセンブリーを開催しました。クラブ・アッセンブリーでは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年担当の各委員長から今年度事業報告等の発表があり、大日向ガバナーから講評を頂きました。

12時30分より例会が開催され、大日向ガバナーからシェカール・メータRI会長の「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」のテーマを踏まえ、当地区からポール・ハリス・ソサエティに100人出すという目標が示されました。また、10月に開催される地区大会プログラムのご紹介、９月12日実施予定のロータリー奉仕デーについてご講演され、今後、当クラブの発展に向けての貴重なアドバイスを頂きました。

栗沢ロータリークラブ　7/28 水

７月28日(水)大日向豊吉ガバナー、早河常機ガバナー補佐、岡田恒男地区幹事、岸山一郎ガバナー補佐代表幹事をお迎えして、公式訪問が開催されました。16時より「会長・幹事懇談会」を氏家会長、前田幹事、金山会長エレクト、中村副会長が出席し、栗沢RCの歴史から現在のクラブの特徴当をご説明させていただき、ガバナー、ガバナー補佐から会員増強の取り組み方法などアドバイスをいただきました。

クラブ協議会では、五大奉仕委員長からコロナ禍にありながら実施している活動、これからの活動等の計画発表を行い、大日向ガバナーからは貴重な助言をいただきました。

例会では、RI会長のテーマ「奉仕しよう　皆の人生を豊かにするために」に秘められた中身には、「奉仕するときは、誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになります」との意図があることをご教示いただきました。また、地区方針の「世界に奉仕を 地域には感謝を」「不忘感謝先人偉業」とされた背景には、「一人の力は小さいけれど、多くの力を合わせると動かすことができない山でさえも動かすことができる」ことから様々な奉仕活動を展開することを惜しまないことの教訓をいただきました。
例会終了後、全員で記念写真を撮影して公式訪問を終えました。

大日向ガバナー、早河ガバナー補佐、岡田地区幹事、岸山ガバナー補佐代表幹事、長時間にわたり当クラブへの公式訪問、誠にありがとうございました。

札幌ライラックロータリークラブ　7/30 金

令和３年７月30日(金)札幌ライラックRCに於きまして、大日向豊吉ガバナーの公式訪問が行われました。

例会前に行われた「会長、会長エレクト、幹事懇談会」では、大日向ガバナー、羽部特別代表、有田ガバナー補佐、岡田地区幹事より会員増強の具体的な方法等、多くの貴重なアドバイスをいただき今後の運営に大変参考になりました。

午後６：30より、大日向ガバナーを中心に写真撮影、点鐘と、例会は始まりました。大日向ガバナーより、ロータリークラブへの熱い思いと今期の地区方針である「世界に奉仕を　地域には感謝を」のお話があり、我々のような経験が浅いロータリアン向けにわかりやすくご説明いただきとても感謝しております。会員一人一人の心に響き、そしてユーモアあふれるお話でしたので、会員からは「どのような心意気でロータリアンとして活動していけば良いのかがわかる良い機会でした」と感想文も届きました。

我々役員も、今期のテーマそして地区方針をしっかり学ぶことができましたので、会員自らが豊かな人生となるような奉仕活動を実施してまいりたいと思います。

当クラブには、米山奨学生がおります。絵の勉強をしている徐(じょ)さんです。
徐さんは大日向ガバナーの公式訪問へ向けて素敵な絵画を制作され、サプライズプレゼントとして大日向ガバナーへお贈りいたしました。大日向ガバナーには奨学生との交流の一場面を喜んでいただけたかと思います。

コロナ禍のため早めの終了でしたが、本当に充実した有意義な公式訪問でした。

新型コロナ蔓延防止措置期間中のため、例会場エルプラザ使用中止による会場変更、様々な書類不備、いたらない所ばかりでしたがなんとか無事にこの重大行事を終えることができました。本日参加の皆様本当にありがとうございました。

札幌清田ロータリークラブ　8/3 火

８月３日(火)当クラブに大日向ガバナー・有田ガバナー補佐・朝倉地区幹事が公式訪問されました。午前10時半より当クラブ三澤会長・三浦幹事・高橋会長エレクトとで、会長・幹事懇談会を行ないました。三澤会長より、当クラブの歴史、現状、今年度の方針などを報告致しました。大日向ガバナーより、当クラブは、社会奉仕を中心とした全員参加型のまとまったクラブとの評価、会員増強には現会員を維持し、少数人クラブの利点を活かし新入会員を増やす環境を作って頂きたい旨述べられました。11時よりクラブ協議会が開催されました。各委員長による事業計画、活動方針を発表させて頂き、大日向ガバナーより、ご自身の経歴、函館の歴史等に基づく貴重なご助言を賜りました。今後の活動に大いに参考すべきものでした。引き続き12時半よりクラブ例会に入り、大日向ガバナーより、RIテーマと地区目標・重点課題を分かり易くご説明頂きました。終始和やかでガバナーの気さくなお人柄が溢れる有意義な公式訪問でした。

札幌大通公園ロータリークラブ　8/3 火

８月３日(火)当クラブに大日向ガバナー、有田ガバナー補佐、能戸地区代表幹事が公式訪問されました。午後５時30分より鈴木会長、菅原幹事、佐藤会長エレクトと６名で会長・幹事懇談会が行われました。有田ガバナー補佐の進行のもと、当クラブの特徴、今年度の方針などをご報告いたしました。大日向ガバナーより、会員に財団学友、米山学友が複数いて国際色豊かな個性あるクラブで今後も派遣奨学生へのサポートや学友会、地区委員会等に貢献してください、と激励の言葉をいただきました。また、ガバナーご自身のビジネスにおける新規事業への取り組みの苦労話なども披露され、会員のビジネスの成功・発展がロータリーの奉仕活動の拡がりにつながると述べられました。午後６時30分より今年度第３（通算787）回例会が行われました。ゲストに今年度当クラブがスポンサーとなる地区補助金奨学生和田哉恵さんが参加しました。大日向ガバナーよりRI会長の言葉なども紹介しながらRIテーマと地区目標・重点課題をわかりやすくご説明いただきました。その後和田さんから出発に向けての抱負が述べられ、奨学生バッジ、オリジナルマスク、バナー贈呈が行われました。大日向ガバナー、有田ガバナー補佐、能戸地区代表幹事ご訪問いただきありがとうございました。

新札幌ロータリークラブ　8/4 水

令和３年８月４日(水)、当クラブの例会会場であります ホテルエミシア札幌において、大日向豊吉ガバナー、当クラブメンバーでもあります 有田京史ガバナー補佐、能戸彰地区代表幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。

コロナ禍のため、午前11時より会長・幹事懇談会が行われ、当クラブからは池田会長、本間幹事（会長エレクト）が同席してクラブの現状を説明し 穏やかな雰囲気の中で開催されました。当クラブは入会年数の浅い会員が会長・幹事、理事・役員が多いとの説明に関心を持たれ賛同およびご指導をいただきました。

また、午前11時30分より、クラブ協議会が開催され、五大奉仕各委員長より活動計画および活動報告が発表され、その中で、当クラブで行っている職業奉仕委員会の活動に関して評価をいただきました。
ただ今年度もコロナ禍が続いており、活動計画が制限される状況が予想されますが、その中で出来る限りの活動を行いたいと思います。

午後12時30分から例会が開催されました。大日向ガバナーより第2510地区目標「世界に奉仕を地域には感謝を」で、ポリオ根絶への理解・ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力、会員増強等を行うためにはロータリークラブの会員自身が良くならなければ、奉仕（還元）は出来ないと、貴重なご講話をいただきました。

最後に大日向ガバナー、有田ガバナー補佐、能戸地区代表幹事を囲み記念写真を撮影し、ガバナー公式訪問を終了しました。

コロナ禍にてハードスケジュールの中でのご訪問、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

札幌真駒内ロータリークラブ　8/4 水

2021年８月４日(水)、大日向豊吉ガバナーの公式訪問がございました。今回は、コロナウィルスの感染拡大の影響もあり、初めての夜間例会での公式訪問となりました。また、想定以上の感染拡大傾向から、当初予定していたクラブ協議会を前日に急遽中止する、という変更もありましたが、大きな混乱もなく、無事終了できました。

大日向ガバナー、有田ガバナー補佐、能戸地区代表幹事をホテルライフォート札幌の１階でお迎えし、17時半から会長・幹事会、18時半からはガバナー公式訪問例会と順調に進みました。ガバナー公式訪問という性質上、夜間例会ではありましたが、アルコールの提供は無しといたしました。例会では大日向ガバナーに卓話をしていただき、RIのテーマである「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」の分かりやすい説明、ロータリー奉仕デーのこと、会員増強のことなどのお話をいただきました。

お忙しい中、当クラブをご訪問いただき、ありがとうございました。

小樽ロータリークラブ　8/10 火

去る８月10日(火)、大日向ガバナー、松浦ガバナー補佐、能戸地区代表幹事、斎藤ガバナー補佐事務局員をお迎えしてガバナー公式訪問を開催いたしました。

10時からの「会長・幹事懇談会」では、当クラブの会長・幹事と次期会長で懇談させていただき、稲垣会長より小樽RCの現状について報告、大日向ガバナーよりコロナ禍での各クラブの活動、地域の活性化、未来ビジョン、奉仕についてお話いただきました。

11時からのクラブ協議会では、各委員会より事業計画を発表し、その後、大日向ガバナーより講評いただき、その後、財団や米山記念奨学の寄付、私たちが出来る奉仕についてお話いただきました。終始穏やかな雰囲気の中でクラブ協議会を終了いたしました。

クラブ例会はオンライン形式での開催でしたが、大日向ガバナーから会員に向け、奉仕することにより自分の人生が豊かに、そして地域活性化に向けた考え方をお話しいただきました。大日向ガバナーの方針を十分に感じることがでました。

大日向ガバナーにおかれましては、お体にご留意され、残りの公式訪問をはじめ、年度内全ての事業が無事に終了されますことをご祈念申し上げ、公式訪問のお礼とさせていただきます。大日向ガバナー、ありがとうございました。

蘭越ロータリークラブ　8/10 火

８月10日(火)午後４時より蘭越商工会応接室において大日向豊吉ガバナー、松浦光紀第６グループガバナー補佐、能戸彰地区代表幹事、斎藤仁小樽南RC会長エレクトをお迎えし蘭越RC馬場充会長、志比川武幹事、佐藤義久次期会長、新見健会員　同席のもと会長・幹事懇談会を開催致しました。現在、会員８名で活動している当クラブの活動の様子をご説明し、ガバナーから『蘭越RCは小人数故に独自に委員会を再編成し活気のある活動を行っていることが伺える。今後も是非続けてほしい。』とお言葉を頂きました。

引き続きクラブ協議会を開催し各委員長が今年度の活動目標を発表致しました。大日向ガバナーから『高いと思われているロータリーの敷居を会員が地域の同世代の仲間との交流の中で下げてゆき、地域の活性化に一役買って新しい会員を増やして欲しい。』とご意見を頂きました。

その後の例会では、会務・幹事報告の後、大日向ガバナーの卓話を拝聴し、結びに『８名中マルチプル・ポール・ハリス・フェローが４人、ポール・ハリス・フェローが３人も居るので是非ポール・ハリス・ソサエティーになって頂きたい。』とお言葉を頂きました。　（分責　山田一晴）

新会員のご紹介

（敬称略）

浦河RC
大岡由幸
令和3年7月6日入会
報道記者

浦河RC
川村　学
令和3年7月6日入会
信用金庫

浦河RC
郷路雅樹
令和3年7月6日入会
銀行

江別RC
世永　茂
令和3年7月15日入会
電気事業

滝川RC
芦﨑利弘
令和3年7月1日入会
化学製品販売業

滝川RC
稲葉了大
令和3年7月1日入会
塗装工事業

滝川RC
柴田久之
令和3年7月1日入会
建築資材製造業

滝川RC
中島純一
令和3年7月1日入会
行政代行

江別西RC
市川茂春
令和3年7月1日入会
福祉施設

新札幌RC
佐藤勝治
令和3年7月7日入会
プロパンガス販売

苫小牧RC
松井利顕
令和3年7月30日入会
電気事業

苫小牧RC
川尻裕二
令和3年7月30日入会
電気事業

深川RC
古田勝人
令和3年7月6日入会
電力供給

深川RC
長澤　勤
令和3年7月6日入会
信用金庫

米山奨学生の紹介

フーダグラ（中国）
酪農学園大学・江別西 RC

ヴィンヤード野生酵母の抗灰色カビ作用とマクロファージ細胞に対する免疫制御作用

酪農学園大学大学院、食品微生物管理学、食品栄養科学専攻博士課程の３年生、胡達古拉と申します。

私大学で生物工学専攻し、日本はアジアの強国の出、第一線で世界の最新のハイテク技術に触れできます。これらの要素により、私は、より一層日本に留学したいと思いました。

ブドウ灰色カビ病はBotrytis cinereaの感染により花穂と成熟期の果実に発生し、収穫量の損失をもたらす。対策として抗菌剤が用いられるものの効率の低さや薬剤耐性株の出現に加え、近年、有機栽培への関心が高まっている状況からも、新たな防除方法が求められている。自然発酵ワインの醸造においてブドウ果実に着生する野生酵母が重要な役割を担うが、酵母の中には抗カビ作用を示す種株が存在することも知られている。一方、最近の研究では酵母も、乳酸菌などと同様にプロバイオティクスとして、私達の腸内環境を良好な状態に保つ上で重要な役割を果たしていることがわかってきた。本研究では、寒天培地を用いたin vitro試験でB. cinereaに対する抗カビ作用を認めた、ブドウなどから分離した野生酵母について、ブドウ果粒およびフィールドにおけるin vivo試験により微生物農薬としての有効性を検証する。さらに、これら野生酵母のマウスマクロファージ様細胞RAW264に対する免疫制御作用を評価し、健康増進作用の可能性についても調べる。

自然発酵ワイン沈殿物などから分離した野生酵母ライブラリーの中から、in vitro試験でB. cinereaに対する抗カビ作用を示した野生酵母を用いた。

ブドウ果粒における灰色カビ病に対する増殖抑制作用は、野生酵母６株のうち、３株が強い抑制作用を認めた。

フィールド試験では試験区の灰色カビ病罹患率は、対照区に比べやや低値を示したが統計的な有意差は認めなかった。収穫したピノ・ノワール果実を用いた自然発酵ワインは、試験区のタンクが発酵仕込み３日後に先に発酵を始め、その２日後遅れて対照区の発酵が始まった。仕込み８日後においても、試験区の方は、泡がより多く発生している現象が確認できた。このことから、噴霧した酵母が果実に着生しアルコール発酵を促進したと考えられる。

免疫制御作用を酵母６種18株について測定したところ、３種９株に強い抗炎症作用を認めた。

以上、ヴィンヤードから分離した野生酵母をブドウ灰色カビ病に対して微生物農薬として使用する試みは、ブドウ果粒のin vivo試験結果から効果が確認できたものの、今回のフィールド試験においては有効性を検証できなかった。今後、酵母の噴霧時期や噴霧頻度などについて検討を加える必要がある。その一方で、着生した酵母が自然発酵ワインにおける発酵能を高め、カビの増殖を抑制する作用が確認されたことは、実用面での大きな利点と言える。また、酵母が示すマクロファージ細胞に対する抗炎症作用の作用機序についても、今後の興味深い研究課題である。

卒業後中国に帰国し、習得した微生物にかかわる仕事をして故郷の発展に少しでも貢献したいと思っています。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

登別ＲＣ	遠藤　秀雄	会員	（12回）	７月１日	苫小牧東ＲＣ	佐藤　　正	会員	（２回）	７月28日
苫小牧東ＲＣ	鈴木　浩之	会員	（１回）	７月28日	苫小牧東ＲＣ	水元　修治	会員	（５回）	７月28日

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol.257
2021年8月13日
発行

1. 熱海土石流災害義援金 ― 台湾米山学友会 ―

７月に発生した熱海市土石流災害への義援金として、台湾米山学友会が385,000台湾ドル（日本円で150万3,906円）を寄付してくださいました。

この義援金は、日本政府が台湾へ提供したワクチンへの感謝の気持ちを込めて、熱海の被災者に役立てて欲しいと学友たちが出し合ったもの。７月29日に台湾からいったん当会へ送金され、８月２日付で当会から国際ロータリー第2620地区の災害支援本部の口座へ振り込みました。また、これとは別に、複数の米山学友が会員として所属する台中文心ＲＣからも、日本の相模原中ＲＣを通じて同災害への義援金を送金したとのこと。台湾米山学友から届く温かな支援に心から感謝を申し上げます。

2. 2022 学年度奨学生の募集を開始

来年４月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で563校（前年度576校）。指定校からの被推薦者数は1,804人（同1,894人）で、この中から新規奨学生約600人が選ばれます。今回、初指定校は19校。また、５地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、12地区（同13地区）32校（同32校）となりました。各地区委員会では毎年、大学説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に適う多様な人材を採用しようと努力しています。当会からは８月６日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています。

3. 寄付金速報 ― 2021-22 年度のスタート ―

2021−22年度の最初の月となる７月の寄付金は約２億1,000万円でした。前年度と比べて約7.02％減（普通寄付金：4.09％減、特別寄付金：13.9％減）、約1,600万円の減額となりました。

過去には２億円に満たなかった年度もあった中、このコロナ禍にも関わらず、ロータリアンの皆さまから多額のご寄付をいただきまして誠にありがとうございました。米山記念奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇る「ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト」です。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4. 2年ぶりの企業見学会 ― 第2760地区 ―

第2760地区（愛知県）の米山奨学委員会では７月22日、地区内企業への見学会を２年ぶりに実施し、今年度奨学生と学友が参加しました。

地区米山記念奨学委員長の大橋均氏によると、この企業見学会は同地区恒例行事の一つ。昨年は中止となり、今年も直前まで開催を迷いながらも、受け入れ企業側の協力を得て、午前３班、午後３班と計６班に分かれて工場や記念館、ショールームなどの構内施設見学を行ったということです。「米山奨学生たちが目を輝かせて喜ぶ姿を見ると、やって良かった」と、大橋委員長は語りました。

5. オンラインで奨学生体験発表会 ―第2530地区―

第2530地区（福島県）米山学友会が主催する「奨学生体験発表会」が７月31日、オンラインで開催され、奨学生と学友、ロータリアンら総勢約90人が参加しました。

当日は、志賀利彦ガバナー、武島昭良米山奨学委員長、チンタカ・クマーラ同地区学友会会長、当会柚木裕子事務局長の挨拶につづき、奨学生がそれぞれ「奨学生生活を通じて身に付いたもの」、「日本人はなぜ麺をすすって食べるのか？」、「人工知能の現在と未来」など思い思いのテーマで発表。学友からは自身の近況報告もあり、参加したロータリアンは興味深く耳を傾けました。

チンタカ会長は「今回は２年ぶりに、オンラインではありましたが、開催できて良かったと思います。いずれまた以前のように集まって、奨学生・学友が母国料理を作り、ロータリアンたちにふるまいながら交流の時間を過ごせるようになれたら」と、話しました。

第３回米山学友による世界大会「再会 in 関東」開催決定！
日　程：2023年８月５・６日 ※2年後です／場所：茨城県つくば市／主催：関東10学友会
詳細が決まり次第、当会ホームページでお知らせしてまいります

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2021年9月号 No.1
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

コロナ禍での会員維持増強

東京オリンピックは終わりましたが、新型コロナウイルスの感染の猛威は止まりそうにありません。皆さまのクラブはこのコロナ禍でどのように活動されているのでしょうか。

ロータリーの活動を推進するうえで、会員の維持増強が重要なテーマであることは疑いを容れません。今年度のシェカール・メータRI会長は、”Each One, Bring One”のスローガンを掲げ、会員増強を強く呼びかけられていますが、コロナ禍で各地区とも苦戦を強いられているのが現実かと思います。

そのような中、前年度末の６月27、28日に開催された第１第２第３地域合同の「クラブ活性化セミナー」では、会員維持増強に奮闘している地区・クラブが紹介されました。まずはこれまで会員増強に顕著な実績を挙げ、前年度もコロナ禍を跳ね飛ばして純増５名を達成した大宮西ロータリークラブ（第2770地区、染谷会員発表）から、「入会候補者カード」の活用、会長自ら入会候補者を説得する、クラブ内に共通の趣味を持つことなどで集まる部会制度を設けるというような様々な工夫が紹介されました。続いて最近の「ロータリーの友」でも特集されるなど、今注目を集めている衛星クラブの実例が二つ紹介されました。一つは「典型的な地方都市」を自認する北海道の岩見沢ロータリークラブ（第2510地区、西方会員発表）から市内の若い世代に働きかけて衛星クラブを創立し、自クラブを活性化した経験が発表され、また、全員がROTEX（青少年交換学友）という共通の基盤をもつ国際性豊かな会員で構成する衛星クラブを創立した東京北ロータリークラブ（第2580地区、浅田会員発表）の発表がありました。これらの発表を通じ、ロータリークラブにとって衛星クラブとは、単なる会員予備軍の獲得ではなく、ロータリークラブの新たな展開、発展の起爆剤であることを実感しました。さらに、ロータリーの「多様性」を語るうえで重要なキーワードである女性会員の拡大について、女性会員の比率では低位に属する第2680地区（梅原会員発表）から、女性の有業率など客観的な統計データから地区特有の状況を分析し、これからは従来の企業経営者や特別の資格を有する専門職だけではなく、意識が高く、奉仕の精神や思いやりの気持ちを持った「女性社会人全般」を視野に入れる必要があるとの発表があり、会員増強の在り方に一石が投じられたように感じました。

このクラブ活性化セミナーのデータは各地区に配信されています。参加されなかった会員が一人でも多く視聴されることを期待しています。必ずや皆さまのクラブの活性化のヒントを提供することができると確信しています。

第３地域　ロータリーコーディネーター　滝澤　功治（神戸須磨RC）

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2021年9月号 No.2
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

「ロータリー奉仕デー」に参加しよう！
地球環境保全プロジェクト（海岸清掃）について

2021-22年度に、シェカール・メータRI会長提唱のもと、国際ロータリーが全世界で実施を計画している「ロータリー奉仕デー」の一環として、Rotary TEAM JAPANは「地球環境保全プロジェクト」を展開します。これは、世界のロータリアンが同じ日に海岸や河川、湖沼の清掃をロータリーファミリーや他のボランティア団体、地域住民と共に実施するグローバルイベントです。

「環境」は、国際ロータリーの７番目の重点項目となりました。

そこで国際ロータリー第2820地区は、以前より計画していた海岸線の一斉清掃を９月12日(日)に近隣の地区と一緒に実施します。この計画を日本全国の地区に広めていく計画で、国際ロータリーもこの計画を推奨しております。

この取り組みを、第2820地区のみならず、全国的に拡大する事ができれば、素晴らしい事業になるのではないかと予感しております。

現在日本のロータリーは、課題として、会員増強と公共イメージの向上に取り組んでおります。もちろん、他にも重要な課題があることは承知しておりますが、個人的には、この２つを重要視しております。

会員拡大には、ロータリークラブ自身の魅力、会員自身の充実感、満足感がなければなりません。また地域社会の皆さま方からの認知・評価等も重要な要素であると思います。Each One, Bring One は、会員自身にロータリーに対する評価がなければ、難しいでしょうし、地域社会からの肯定的評価がなければ、これまた困難だと思います。

ロータリアン自身の意欲を喚起し、地域社会からの良い評価をうけるために、各地区、各クラブはそれぞれ努力されてきたと思います。しかし、その結果は物足りなさを感じておられるのではないかと思っております。

会員の意欲を高め、地域社会の認知度を高める一つの方法として、「ロータリー奉仕デー」のプロジェクトを活用してみては、如何でしょうか！

各地区、各クラブの皆さまのご検討、ご理解をお願い申し上げます。

第３地域　ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　桑原　征一（新居浜RC）

第1地域 RRFC便り 8月号

「可能性を実践できる場」

「年次寄付ゼロクラブゼロを達成できました」

細川　吉博
2021-22 ARRFC（第1地域）
帯広北ロータリークラブ

今期第１地域RRFC補佐（以後ARRFC）を拝命しています帯広北ロータリークラブ細川吉博と申します。財団の活動にご理解頂き、国内のクラブ全てが皆様のおかげで年次寄付ゼロクラブゼロを達成できましたこと、まずお礼申し上げます。これからもロータリアンの皆さんにその活動がわかりやすい財団になるよう心がけていきたいと思っています。コロナ禍は収まるどころか第５波の様相を呈しています。皆さんにとっても大変ご苦労されていることと拝察します。感染を抑えるためには人流の抑制とのことで、飲食特にアルコールを提供する店舗が制限されています。しかしこの政策はコロナの流行の抑制に効果はあると思いますが、それに関連する経済活動に大きな影響を及ぼしています。飲食店のみならず酒類や食料品を販売する業種や宿泊、観光、流通、さらには農林水産業などなど、いずれも業績が低迷しています。改めて世の中はほぼ全ての職種がそれぞれ大きな歯車としてお互いに関連して動いていることを感じさせられます。翻って考えるに、私たちのロータリー活動も同じことが言えると思います。ロータリーの活動は私達の浄財が集まることによって大きな力となって働いています。それは私達の住んでいる街の環境の整備やイベントに使われ、多くの若者をも支え育てています。さらには世界規模で、飢餓や生命に関わる生活環境の改善などにも使われています。ポリオプラスもその一端です。私達一人一人の力が結果を示しているのです。しかし私たちにとっては寄付行為は不慣れかもしれません。せいぜい年間数回の神社などに参拝するときのお賽銭程度の感覚しか持っていない方が多いのではないでしょうか。寄付は決して自己顕示欲でもなく、売名行為でもありません。

それはロータリアンとして世界に貢献できる立場が得られた特権と考え、その与えられた名誉と責任に対して私たちは全うすべきです。

京都駅の和食店で「三尺３寸箸」があります。店名の由来は、長い箸を持っていても、その箸で食べ物を自分の口に運ぶことはできない。長い箸を使って相手に届けることができれば、次は相手からその長い箸で食べ物が得られるという、仏教における奉仕の考えとのことでした。私たちが今までの努力で獲得したその長い箸を、相手に向けてあげたらきっと素晴らしい世の中になると思います。ロータリーは可能性を実践できる場です。

■第１地域５年連続で ゼロクラブゼロ達成

先日ロータリー財団から正式な2020−21年度の年次基金寄付について最終の結果が纏まり、第１地域の14地区の全てのクラブが年次基金寄付を実施された事の報告がありました。併せて日本３地域の全ての地区がこれを達成されたと報告がありここに皆様に深甚なる感謝と御礼を申し上げる次第です。
私は2019年７月に第１地域のRRFCに就任いたしました。私の前任の池田徳博RRFCは、2014－15年度のガバナー同期です。池田RRFCの３年間に引き続いてゼロクラブゼロを達成できたことは、池田RRFCのご指導の賜であったと思っております。（羽部記）

■ポリオプラス

1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきました。世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体との協力を開始した1988年には、125カ国で35万人以上の発症が確認されていましたが、以来、約30億人の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しています。

22020年現在、ロータリーはポリオ根絶活動に20億ドル以上の資金（ビル＆メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む）を投入しています。

■ポリオプラス補助金

ポリオ常在国およびウイルス流入のリスクがある国を中心に、ポリオ根絶活動に充てられ、予防接種キャンペーンとポリオウイルス伝染の監視活動を支援しています。ポリオプラス補助金は、ポリオプラス基金およびDDF（地区財団活動資金）の寄贈によって調達されます。提案書は主に、世界保健機関（WHO）やUNICEF（国連児童基金）など主な活動実施者が提出します。管理委員会が定例会合において、ポリオプラス補助金の申請を審査します。

■ポリオプラス・パートナー補助金

高優先国のポリオプラス委員長により提出された、緊急の社会動員や監視プロジェクトを支援します。補助金の申請は、定期的に審査され、ポリオプラス基金から資金が提供されます。

【関連リソース】

■「End Polio Now」ニュースレター
ポリオ根絶の取り組みに関する最新情報とニュースを隔月で紹介。

■「End Polio Now」ポスター
End Polio Nowのロゴグラッフィックを掲載。

■「End Polio Now」ピン
End Polio Nowのロゴが付いた襟ピン。

■アドボカシー用のちらし
ポリオを根絶する理由を紹介。
endpolio.org/jaにこのほかの情報や資料が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

■ロータリー平和フェローシップ

世界各地に現在７つあるロータリー平和センターでは、平和と開発の分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証の取得を目指す学生に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供しています。フェローシップは、授業料、入学費、食費と部屋代、往復交通費、インターンシップと実地研修の

費用に充てられます。
その資金は、地区からのDDF寄贈、冠名指定寄付、恒久基金、WF（国際財団活動資金）から支えられています。地区は、国際レベルでの選考に向け、７月１日までに、資格ある候補者を何名でもロータリー財団に推薦できます（申請のためにDDF配分や寄付を行う必要はありません）。この日までに地区が申請書の審査、面接、オンラインでの推薦提出を終えられるよう、候補者本人は５月15日までに地区へ申請を提出する必要があります。毎年、修士号プログラムで学ぶ50名、専門能力開発のための修了証取得コースで学ぶ80名までのフェローが選ばれ、管理委員会が承認した候補者には、11月15日までに通知が行われます。

【関連リソース】

■「Peace in Action」ニュースレター
ロータリー平和フェローシップに関する最新情報とニュースを隔月で紹介（英語のみ）。

■修了証取得プログラムのパスポートカード
修了証プログラムセンターに関する情報を記載。

■修士号プログラムのパスポートカード
修了証プログラムとセンターに関する情報を記載。

■ロータリー平和フェローシップのプレゼンテーション資料
ロータリー平和センタープログラムの概要。

■平和推進地区になろう
地区が平和フェロ―シップを支援する方法を説明した資料。

rotary.org/ja/our-programs/peace-fellowships からさらに多くの情報とリソースをご覧ください。

■大規模プログラム補助金

ロータリーの大規模プログラム補助金は、重点分野において成果を上げているロータリー奉仕プロジェクトの範囲、インパクト、持続可能性に基づいて授与されます。この補助金により、ロータリー会員は経験豊富なパートナー団体と協力し、広大な地域においてニーズのある大勢の人に恩恵をもたらす大規模で効果の高いプロジェクトを実施することができます。ロータリー財団は、パートナー団体との強い協力の下でロータリークラブまたは地区が提唱するプログラムに対し、200万ドルの大規模プログラム補助金を毎年一口授与します。各補助金は、持続可能な変化を生むことを目的として、３～５年にわたるプログラムの拡大を支援します。
競争制プロセスでは、まず申請者がコンセプトノート（プログラムの大筋を示す文書）を提出し、その後、プログラムの詳細を説明した申請書を提出します。コンセプトノートには、証拠によって成果が実証され、主な関係者（ステークホルダー）との協議を通じて計画されたプログラムの概要を示します。これにより、プログラムの成功の可能性と持続可能性が高まります。申請段階では、インパクトを測定するためのモニタリング、評価、学習計画をプログラムに完全に組み込むべきです。

（重点分野の追加や詳細の変更があり、参照ガイドに変更箇所があり掲載しました。羽部記）
※次回は補助金から掲載を予定しています。

■ヨルダンで活動するRCとRACの総数は21

「アンマン・ヨルダン・リバー・ロータリークラブは美しい音楽を生み出しています」

NationalMusicConservancyのユースオーケストラを率いている同クラブ会員のラナ・リズカラさんは、ロータリーが後援するオーケストラのために才能のある若手音楽家を集めました。楽譜が読めず暗譜で演奏する音楽家たちに楽譜の読み方を教える特別クラスを実施しており、これで「キャリアの可能性が開けるかもしれない」とリズカラさんは言います。現時点では全員ローターアクターですが、今後は非会員もオーケストラに迎えいれていきたいとリズカラさんは考えています。2021年上旬にソーシャルディスタンスを守って練習が始まりました。西洋音楽とアラブ音楽の両方を扱い、「私たちが開催するあらゆるイベントや活動で音楽演奏を行い、外部に依頼した場合の出演料をカットするのがオーケストラの目標のひとつです」とリズカラさんは話します。

■2018年におけるルワンダのGDPの教育予算の比率は３％

「SOS子供の村」ルワンダ支局
学費や制服代金をクラブが肩代わり

キエ・ローターアクトクラブは、**子どもや生徒への支援に力を**入れています。

「SOS子供の村」ルワンダ支局のためにＴシャツ販売とチャリティー・ウォークで資金集めを行った同クラブは、公立学校の学費の支払いに困っている家庭があると耳にしました。ルワンダでは教育は無償ですが、それでも費用はかさみます。同クラブ会長のムサ・カチェチェさんによると、書籍やペン、算数セット、通学カバンを地元学校1の生徒15人に提供し、学費や制服代金をクラブが肩代わりしました。クラブはまた、道路清掃や高齢者向けトイレ施設の建設などの小規模なプロジェクトも実施しています。

■リトアニアの医療従事者を励ますプロジェクト

医療従事者にパンを届ける
ギエドリュス・サルニウスさん

パンデミック対応で奔走する医療従事者を励ますために、ヴィリニュス・サン・クリストフォロ・ロータリークラブの会員が、ヴィリニュス市立病院の職員に**「感謝の気持ちを伝え、できればもっと笑顔にしてあげられるように」**と菓子パンなどを届けました。３月下旬まで10週にわたり、同クラブは毎週金曜日に600個のパン（825米ドル）を地元のパン屋に注文しました。「訪問することはできませんが、感謝の気持ちを伝えることはできます」とクラブ会員のギエドリュス・サル　ニウスさん。ただ、この「SmilesforDoctors（医師たちに笑顔

を)」プロジェクトの記録を写真で残すのは難しかった、と言います。「写真を撮ろうとしても、パンはもう無くなってしまっていますから」

■子ども食堂と共に歩む ロータリークラブ

寄稿者：藤野直子
（名古屋名東ロータリークラブ会員）

【子ども食堂と共に】

皆さんは、「子ども食堂」をご存知ですか？

「夏休みに、一日の食事がバナナだけ」というお子さんがいることを知った東京都大田区の八百屋さんが、ご飯を食べさせてあげたことから「子ども食堂」は始まりました。それから9年、今では日本中に、約5000カ所もの「子ども食堂」ができました。地域のボランティアグループなどが運営する子ども食堂では、無料または安い金額で食事を用意しています。本当に空腹なお子さんもいれば、わいわい楽しいから来るお子さんもいます。「こども食堂が、唯一の外食」というシングルマザーの親子も来ます。「一人で食べるご飯はつまらない」と言って、子ども食堂のボランティアをしてくれるおじいちゃんもいます。学校には足が向かない中学生がお子さんの遊び相手になってくれたり、大学生が宿題を教えたり、それぞれの思いやりと優しさが集まって**“心休まる居場所”**となっているのが「子ども食堂」なのです。（ロータリーボイスから転載しています。）

■PHS認証式と入会式のご案内

これで３年目のご案内になります。2020年の４月と2021年の４月の２回はコロナウイルス感染症拡大のために、泣く泣く中止の止むなきに至りました。ここに改めて「PHSポールハリスソサエティーの認証式」のご案内を申し上げます。

日　時：2022年４月23日（土）前夜祭 18時
　　４月24日（日）認証式 11時

場　所：前夜祭　札幌ビール園（札幌市東区）
　　認証式　プレミアホテル TSUBAKI

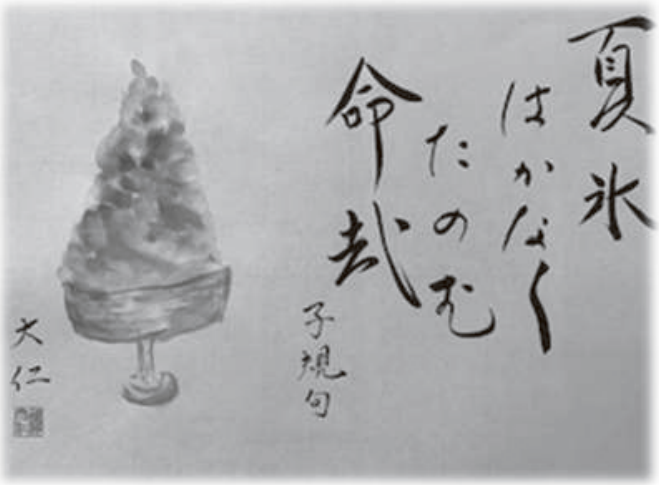
宿　泊：プレミアホテルTSUBAKI札幌
　　〒062-0904
　　札幌市豊平区豊平４条１丁目１－１
　　TEL（011-821-1111）
　　FAX（011-842-6654）

宿泊代：14.000円（一人朝食付き）

（詳細につきましては、次回以降のRRFC便りと別にご案内致します。羽部記）

■かき氷と子規の句

正岡子規が明治26年に謳った句です。喀血して自身をホトトギスになぞらえて子規と号したことは周知のことです。初めての喀血は明



治21年８月鎌倉旅行中と記録にあります。翌明治22年４月に水戸に旅行にでて、５月に大喀血して医師から肺結核と診断され、子規はホトトギスの句を作り、初めて子規の号を用いたと言われています。当時の結核は不治の病と言われていたので、必然的に死を意識するようになったと想像します。病中とあるので病を発症して、病と向き合い多くの句を残していく彼の生き方を感じる一句です。その表現は人間の心の在り方を表すもののように思われます。「夏氷　はかなくたのむ　命哉」です。夏の氷は、直ぐに溶けて消えてしまうものです。まさに「はかない」生き物の命そのものと言わんばかりです。「たのむ」と続いています。この頼むは、頼まずにはおられないという切羽詰まった状況を言い表しているようです。私は個人的に「いちご氷」がすきでしたが、最近は抹茶氷が大人の味に思えて今年も頂戴しました。少し氷を盛り過ぎてしまいました。もう少し丸く抑えるべきだったと反省しています。子規は体が熱ってきっと沢山食べたかったのではと思い大盛りにしました。今年は暑い夏です。お大切にお過ごし願います。合掌（羽部記）

2024-2025年度
ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー　大日向　豊　吉
地区ガバナー指名委員長　小　山　　司

2024-2025年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月１日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

［参考］国際ロータリー細則第12条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

（1998-1999年度地区年次大会決議第８号）
2019年手続き要覧抜粋

令和3年　熱海豪雨義捐金報告

地区内クラブに募金のお願いを致しました７月３日に静岡県を襲った豪雨災害に対する義捐金について下記62クラブから1,793,539円を頂戴致しました。

災害地域を管轄する第2620地区の義捐金口座にお振込み致しましたのでご報告申し上げます。

皆様の温かいご支援ありがとうございました。

深川RC、留萌RC、赤平RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、新札幌RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、小樽南RC、蘭越RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、北広島RC、長沼RC、由仁RC、様似RC、静内RC、浦河RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、洞爺湖RC、函館RC、函館亀田RC、森RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、北斗RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC

地区カレンダー　9月・10月

9月　基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間

1	水	公式訪問（静内RC）
2	木	公式訪問（えりもRC）
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	公式訪問（伊達RC、室蘭北RC）
8	水	公式訪問（室蘭東RC、登別RC）
9	木	公式訪問（室蘭RC、洞爺湖RC）
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	～14日(火)第1回ガバナーエレクト研修セミナー(Zoom会議) 公式訪問（函館亀田RC）
14	火	公式訪問（函館セントラルRC、七飯RC）
15	水	公式訪問（長万部RC、森RC）
16	木	公式訪問（函館RC）
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	
22	水	
23	木	秋分の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	公式訪問（白老RC、苫小牧北RC）
29	水	
30	木	公式訪問（苫小牧東RC）

10月　経済と地域社会の発展月間／米山月間

1	金	公式訪問（苫小牧RC）
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	親睦ゴルフ大会
9	土	地区大会記念講演会
10	日	地区大会
11	月	
12	火	公式訪問（江差RC・函館東RC）
13	水	公式訪問（函館北RC）
14	木	公式訪問（北斗RC）
15	金	公式訪問（函館五稜郭RC）
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

2021年9月のロータリーレートは地区HPをご覧下さい。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数 2021.7.1	2021.7.31	増減	内女性
1	深川	3	32	34	2	2
	羽幌	3	36	36	0	1
	留萌	4	25	25	0	4
	小計		93	95	2	7
2	赤平	3	20	20	0	2
	芦別	2	28	28	0	2
	砂川	3	39	39	0	1
	滝川	4	84	84	0	5
	小計		171	171	0	10
3	美唄	4	22	22	0	0
	江別	4	36	37	1	1
	江別西	4	35	35	0	3
	岩見沢	4	91	93	2	1
	岩見沢東	3	17	17	0	2
	栗沢	3	18	18	0	1
	栗山	3	25	25	0	4
	当別	4	26	26	0	0
	小計		270	273	3	12
4	札幌	3	121	130	9	1
	札幌はまなす	3	17	17	0	2
	札幌北	3	38	38	0	4
	札幌ﾓｰﾆﾝｸﾞ	3	36	36	0	0
	札幌西	3	50	50	0	11
	札幌西北	4	30	30	0	3
	札幌手稲	4	34	34	0	3
	小計		326	335	9	24
5	札幌東	4	113	113	0	0
	札幌清田	3	11	11	0	3
	札幌幌南	4	59	59	0	4
	札幌真駒内	3	20	20	0	6
	札幌南	3	76	80	4	2
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	14	14	0	4
	新札幌	2	24	25	1	5
	小計		329	334	5	27
6	岩内	3	26	26	0	1
	倶知安	2	33	34	1	3
	小樽	3	72	73	1	3
	小樽南	4	60	60	0	3
	小樽銭函	2	15	15	0	1
	蘭越	4	8	8	0	0
	余市	4	37	37	0	3
	小計		251	253	2	14

7月会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,418人
当月末会員数（女性）	2,453人(170人)
増加会員数	35人

グループ	クラブ名	例会数	会員数 2021.7.1	2021.7.31	増減	内女性
7	千歳	3	74	75	1	10
	千歳セントラル	3	42	42	0	9
	恵庭	3	45	45	0	3
	北広島	3	15	15	0	0
	長沼	2	16	16	0	3
	由仁	2	8	8	0	1
	小計		200	201	1	26
8	えりも	2	17	16	-1	1
	三石	3	11	11	0	0
	様似	3	14	14	0	1
	静内	3	64	64	0	4
	浦河	3	20	22	2	2
	小計		126	127	1	8
9	伊達	3	61	61	0	2
	室蘭	4	30	32	2	2
	室蘭東	3	31	31	0	2
	室蘭北	4	52	52	0	1
	登別	4	26	26	0	1
	洞爺湖	2	11	11	0	1
	小計		211	213	2	9
10	函館	4	57	65	8	2
	函館亀田	4	33	33	0	4
	森	2	33	33	0	0
	七飯	4	15	15	0	0
	長万部	2	10	10	0	0
	函館セントラル	3	23	23	0	2
	小計		171	179	8	8
11	江差	2	9	9	0	1
	函館五稜郭	4	47	47	0	0
	函館東	3	36	37	1	8
	函館北	3	17	17	0	1
	北斗	4	12	12	0	0
	小計		121	122	1	10
12	白老	2	30	30	0	3
	苫小牧	4	59	60	1	2
	苫小牧東	4	32	32	0	7
	苫小牧北	2	28	28	0	3
	小計		149	150	1	15
合計			2,418	2,453	35	170

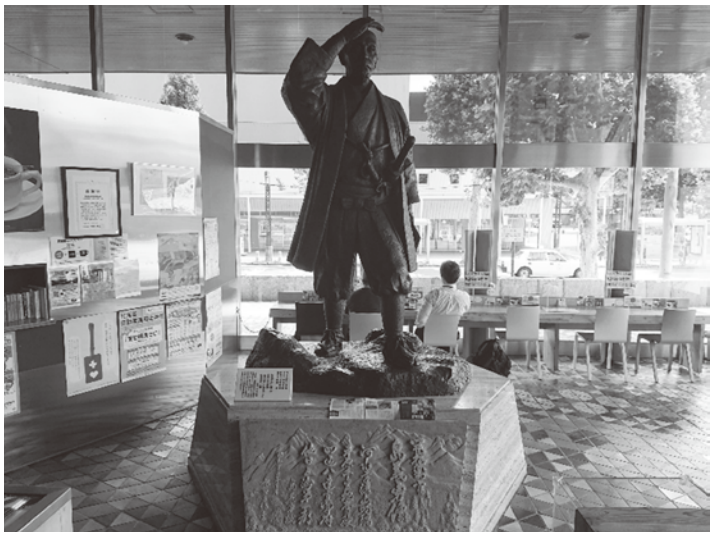
※岩見沢ＲＣには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数13名（内女性会員0名）を含む

表紙の解説

1822年10月26日生まれ、明治政府官吏。札幌市の建設に着手し、「北海道開拓の父」と呼ばれる。

1869年に蝦夷地が北海道と改称され、新政府において島は蝦夷地に通じているということで蝦夷開拓御用掛に任命され、開拓判官に就任した。当時は開拓の本府、箱館にあったが、明治政府は北海道の中央部の札幌に新たな本府となる都市の建設を決定。島は、銭函に開拓使仮役所を開設し南下して札幌に至り建設に着手する。当時の札幌はアイヌのコタン（集落）と和人入植者の家が点在するほかは原野であった。島は「五州第一の都」を作るという壮大な構想を描き京都市や故郷の佐賀などを念頭に置いて碁盤の目のような整然とした市街を目指して工事を進めた。現地に暮らすアイヌの協力も得ながら工事を進めていたが輸送船が沈んだり工事が冬場にかかり、食料不足に耐えながら札幌建設に従事した。

その年、明治天皇の詔により東京で北海道鎮座神祭が行われ、北海道開拓の守護神として開拓三神が鎮祭され、太政官訓令の中に、石狩に本府を建て、祭政一致の建前から神を祀る事を命ぜられた。そのため島は開拓の三神を授けられて、陸路札幌に向かい市内に仮宮殿を設けた神社予定地を見定め現在の札幌市北5条東1丁目に開拓三神を祀り一の宮とした。



Rotary District2510